

県政協議会

令和元年七月三十日(火)

午前十時三十分

- 一、障害者の雇用状況等について
- 二、農作物の生育状況等について
- 三、その他

障害者の雇用状況等について

令和元年7月30日
 総務部
 産業労働部
 教育委員会
 警察本部

1 令和元年度の障害者雇用状況

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、本県が令和元年6月1日現在の障害者任免状況として厚生労働大臣に通報している内容は次のとおりである。

	知事部局	公営企業	教育委員会	警察本部
法定雇用率	2.50%	2.50%	2.40%	2.50%
通報した雇用率	2.56%	2.78%	2.09%	1.87%
障害者の実数(※1)	76人	2人	98人	5人
不足する障害者数(※2)	—	—	21人	2人

※1 雇用率の算定に当たっては、個別の障害の程度等に応じて実数を補正することとなっている。

※2 法定雇用率を実数で確保するとした場合の数。

2 障害者数の把握方法等

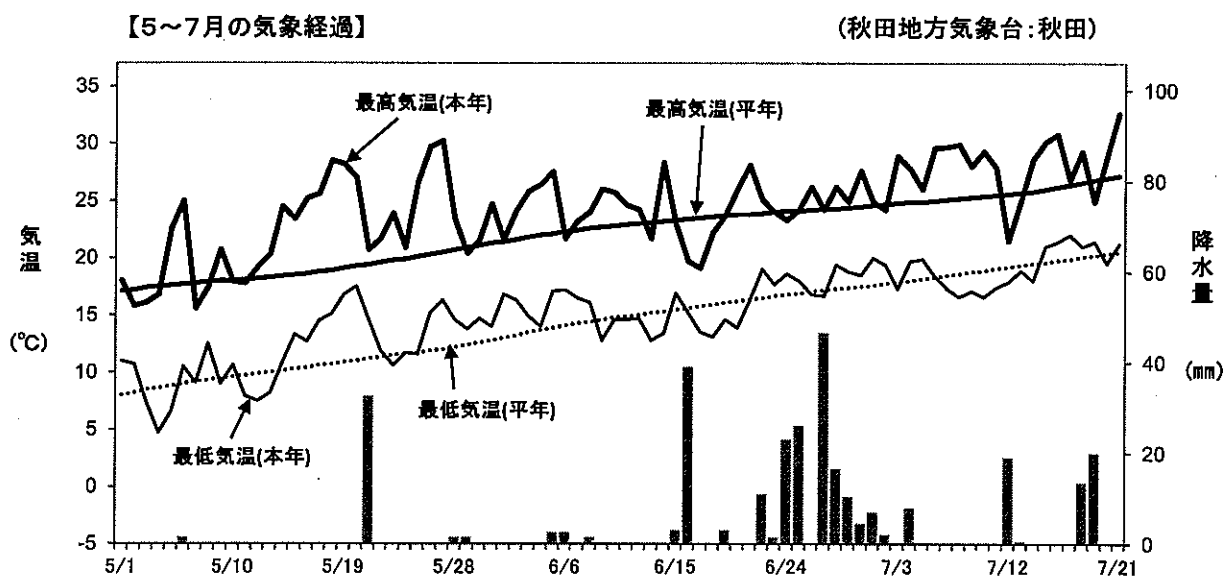
- ① 厚生労働省作成のガイドラインにおいて、雇用率の算定に当たっては、障害者が有する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等の確認とともに、確認によって得られた情報を毎年度の通報に利用することについて当該障害者の同意が必要とされている。
- ② 昨年度の算定において、不適切な算入があったことを踏まえ、昨年8月の再調査時から、関係職員に対し、手帳、指定医・産業医等の診断書・意見書、知的障害者判定機関の判定書のいずれかの書類の提出を求め、確認している。
- ③ 今年度の知事部局の雇用率の算定に当たり、昨年度①の同意を得た職員の1人が同意を撤回したため、当該職員分の算入を見送っている。

農作物の生育状況等について

令和元年7月30日
農林水産部

1 気象経過（秋田市）

- 5月以降、好天が続き、気温は平年並から高めで、降水量は少なめで推移した。
- 日照時間は、6月下旬を除き、平年より多く推移している。



	5月			6月			7月	
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
日照時間 (h)	89.5	116.7	85.7	82.8	71.5	40.0	93.8	57.7
平年比 (%)	154	211	125	127	120	78	203	139

2 各作物の生育状況

(1) 水 稲

- 田植え後の用水不足により生育が停滞したほ場の一部で、茎数不足が見られるものの、全体的に生育は順調で、出穂期は平年並を見込んでいます。
- なお、水不足で田植えができず、他の作物への転換や休耕となったほ場は、約90ヘクタールとなっている。

(2) 大 豆

- 5月から6月中旬の少雨により、出芽に日数を要した地域があるが、その後の生育は順調に推移している。

(3) 野 菜

- 少雨により、一部の品目に生育の遅れが見られたが、全般的に回復してきている。
- えだまめは、収穫が始まっている極早生品種で草丈が短く、平年の1割程度の減収が予想されるものの、中生品種以降の生育は順調に推移している。
- 夏ねぎは、7月上旬から収穫が始まり、出荷量は前年の約1割増となっている。秋冬ねぎの生育も順調に推移している。
- すいかの初出荷は、小玉で7月1日、大玉で7月10日と前年より5日程度早く（JA秋田ふるさと）、玉の肥大・糖度ともに良好である。

(4) 花 き

- キクやリンドウ、ダリア等の主要品目をはじめ、花きの生育は、全般的に順調に推移している。

(5) 果 樹

- りんごや日本なし、ももでは、春先からの好天により開花期が早く、生育は順調に推移している。
- りんご黒星病については、6月中旬までの少雨と徹底した防除により、園地での発生は前年より少なくなっている。
- 5月7日の降ひょうにより、大館市や八峰町、能代市で日本なしを中心に被害が発生し、特に、大館市では平年より3割程度の減収見込みとなっている。

(6) 牧 草

- 少雨により、1番草は平年より1～2割程度減収したが、2番草の生育は順調である。